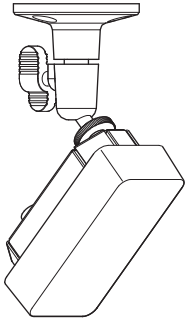


取扱説明書

受光ユニット **ATIR-A400**

audio-technica

ご購入ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 隣接した部屋と混信しない赤外線伝送方式により、安定した運用を実現
- 赤外線レシーバーATIR-R820とATIR-R840のどちらにも使用できる「2MHz/3MHz」共用の単一指向性受光ユニット
- 無指向性受光ユニット「ATIR-A410」との混在使用が可能
- 目立ちにくいホワイトメタリックカラー採用

audio-technica

保証書

持込修理

型番

ATIR-A400

ご購入年月日

年 月 日

保証期間

ご購入日より 1年

フリガナ
ご氏名

ご住所 〒 ()

転載不可

●裏の保証規定を必ずお読みください。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp/proaudio/support/
Eメール：proaudio@audio-technica.co.jp

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までご連絡ください。

- 受光ユニット
- IRフィクサー
- アンカー ×3
- 木ねじ ×3
- 取扱説明書 - 保証書付き -(本書)

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

 警告	
●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。	●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。
●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。	●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。
●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない 異常に気づいたら、お買い上げの販売店が当社ホームページ記載の各営業所に修理を依頼してください。	●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。
	●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。
	●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。

 注意	
●不安定な場所に設置しない 転倒などによりけがや故障の原因になります。	●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。	●密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない 変形、故障の原因になります。
●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。	●調理台の近くなど油、蒸気、熱のあたる場所には設置しない 変形、故障や不具合の原因になります。

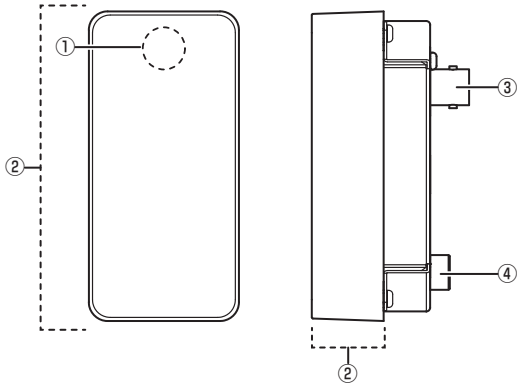
使用上の注意

- ご使用の際は、接続する赤外線コードレスレシーバー、赤外線マイクロホンの取扱説明書も必ずお読みください。
- 下記の近くには設置しないでください。システムの動作不良やノイズ発生の原因となる場合があります。その場合は、正常に動作する場所まで離して設置してください。

- ・照明装置
- ・プロジェクター（液晶やDLPなど）、OHP、白熱電球など
- ・水銀灯、ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
- ・プラズマディスプレイ
- ・リモコン、赤外線LANなどの赤外線機器
- ・調光器
- ・デジタルパワーアンプなどのデジタル機器本体およびその配線（スピーカー出力など）

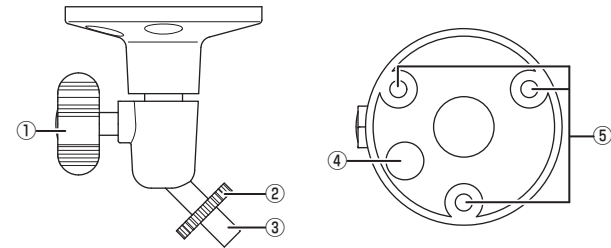
- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- 設置した受光ユニットが使用者や障害物の影にある場合、受信しません。マイクロホンから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。
- 本製品の受光部や、マイクロホンの赤外線発光部を手などで覆わないでください。

各部の名称と機能



- ①電源インジケーター
レシーバーと接続後、レシーバーの電源をONにすると緑色に点灯します。
- ②受光部
マイクロホンの赤外線を受信します。
- ③接続端子
レシーバーと接続する際に使用します。配線方法は、「接続のしかた」をご覧ください。
- ④IRフィクサー接続部
付属のIRフィクサーとの接続部分です。
※1/4インチねじ

＜IRフィクサー(付属品)＞



- ①位置調整ねじ
受光ユニットの位置を調整する際に使用します。
- ②調整リング
受光ユニットを取り付ける際に使用します。
- ③接続部
受光ユニットとの接続部分です。
※1/4インチねじ
- ④同軸ケーブル穴
同軸ケーブルを通す部分です。
- ⑤ねじ穴
取り付け用のねじ穴を通す部分です。

受信周波数

本製品は下記のチャンネルに対応しています。

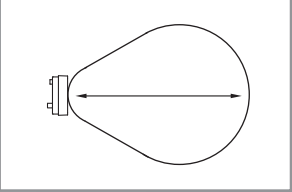
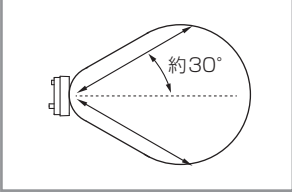
Ach	3.04MHz	Ech	2.06MHz
Bch	3.48MHz	Fch	2.48MHz
Cch	3.70MHz	Gch	2.70MHz
Dch	3.84MHz	Hch	2.82MHz

受信範囲

下記の飛距離は目安です。
※受信範囲は、受光ユニットの設置位置や設定、室内の状況などにより変わります。

※直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、受信範囲が大幅に狭くなります。

※マイクロホンを複数使用している際に、マイクロホンが受光ユニットに近づきすぎると雑音が発生する場合があります。その場合は、受信範囲の中で雑音がしなくなるまでマイクロホンを離してください。

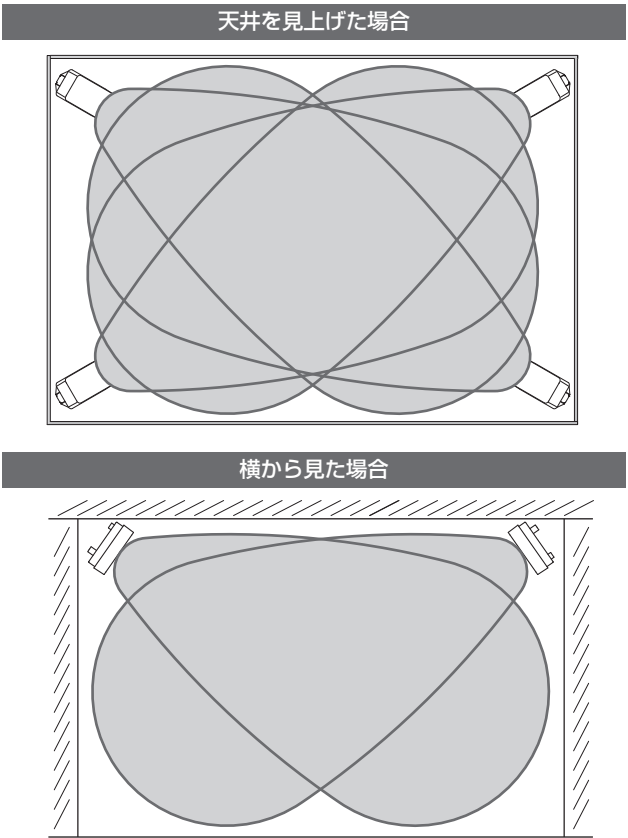
●正面方向		●斜め方向(約30°の場合)	
			
		飛距離	
出力切換スイッチ	HI	約11m	
	LO	約8m	
	ECO	約5m	
		飛距離	
出力切換スイッチ	HI	約8m	
	LO	約6m	
	ECO	約4m	

※上記は以下の製品を組み合わせた例です。
・レシーバー：ATIR-R820/ATIR-R840
・マイクロホン：ATIR-T880/ATIR-T850

※マイクロホンの出力切換スイッチ(HI/LO/ECO)を切り換えると受信範囲が変わります。

■セッティング例

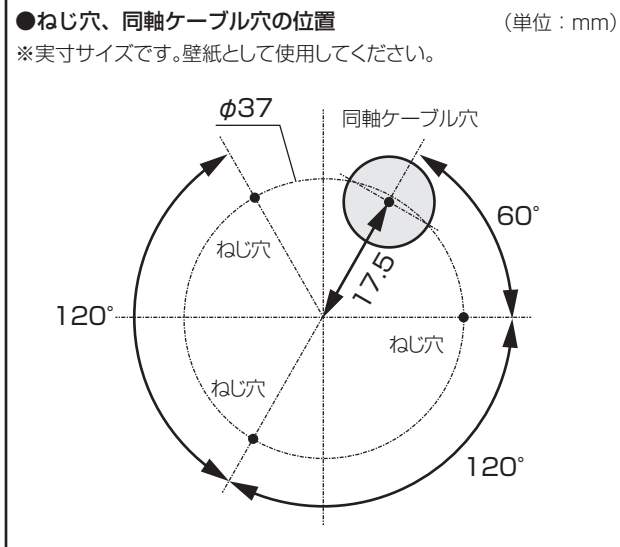
受信範囲が重なるように受光ユニットを取り付けてください。



設置のしかた

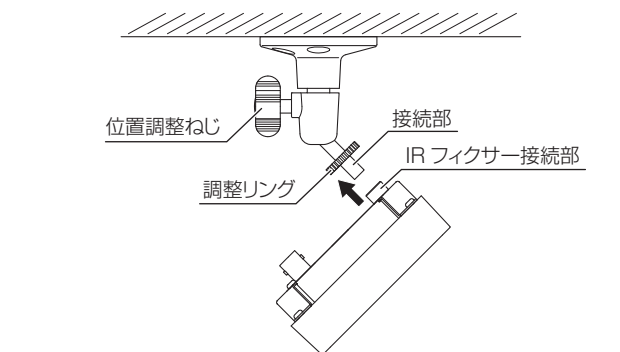
- 本製品は天井に設置して使用します。
- 取扱説明書に従い正しく設置してください。
- 受光ユニットは、障害物がなく見通しの良い場所で、マイクロホンを使用する位置から直視可能な場所に設置してください。

①IR フィクサーの取り付け位置を決め、同軸ケーブル穴を開けます。



②IR フィクサーを、木ねじを使って天井に取り付けます。
※天井が柔らかい素材の場合は、あらかじめ下穴を開けアンカーをねじ穴に差し込んでから、木ねじを使って取り付けます。

③IR フィクサーの接続部と、受光ユニットの IR フィクサー接続部を接続します。
受光ユニットを回して締めた後、受光ユニットの角度を調整します。その後、IR フィクサーの調整リングを回して締め切ってください。



④IR フィクサーの位置調整ねじを緩め、受光ユニットの位置を調整します。
調整後、位置調整ねじをしっかりと締めます。

注意

- ケーブルを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線する恐れがあります。
- 取り付け場所の材質、強度、厚さなど十分に確認してください。強度不足、取り付け不備による落下などの事故や損害が発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- ねじはしっかりと締めてください。締め付けが緩むと、落下などの事故やけがの原因になります。

接続のしかた

- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- 接続するケーブルは市販の75Ωの同軸ケーブル(5C-2V など)を用意し、100m 以内で使用してください。
- 受光ユニットを複数個取り付ける際は、すべてのケーブルを同じ長さにしてください。(推奨差：5m 以内)

※ケーブルが長すぎる、または長さが異なると雑音が多くなる場合があります。

※混合分配器 ATIR-D640 の「ケーブル長補正機能」を使用する場合は、同じ長さにそろえる必要はありません。

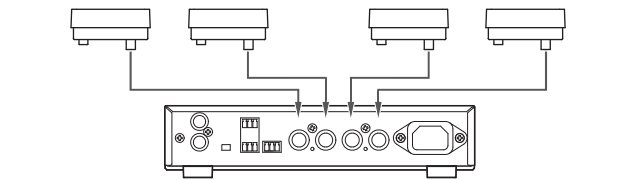
※同軸ケーブルは、ほかのケーブルと一緒に束ねて配線しないでください。雑音の原因となります。

- ①本製品の接続端子とレーザーの入力端子を、同軸ケーブルで接続します。
- ②レーザーの電源を ON にします。
- ③本製品の電源インジケーターが緑色に点灯します。

ATIR-R820 に接続する場合

受光ユニットを最大 4 個接続できます。
※無指向性受光ユニット「ATIR-A410」も接続できます。

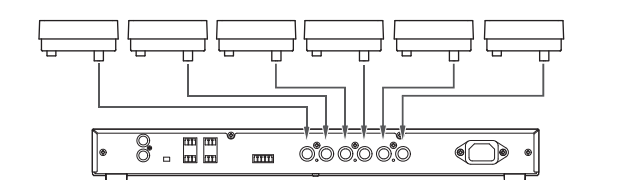
■接続例



ATIR-R840 に接続する場合

受光ユニットを最大 6 個接続できます。
※無指向性受光ユニット「ATIR-A410」も接続できます。

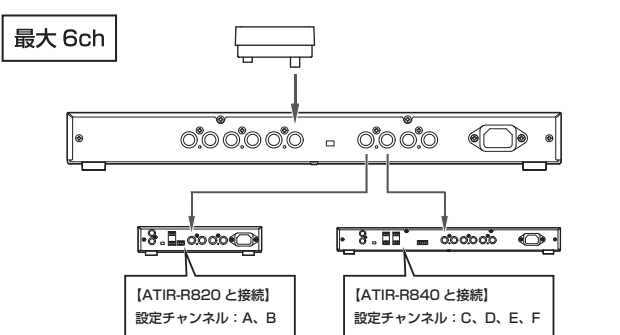
■接続例



ATIR-D640 を使用する場合

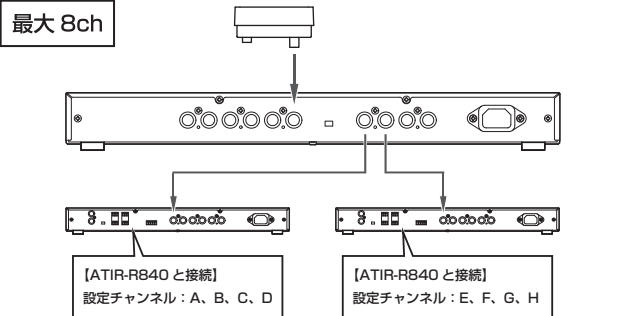
ATIR-D640 を使用することで、5ch 以上の受信が可能になります。

■接続例



ATIR-D640 を使用する場合 (つづき)

最大 8ch



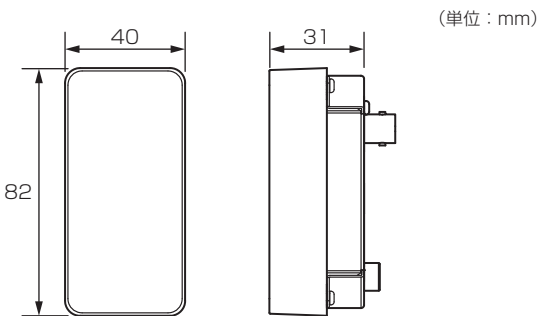
※ATIR-D640 を増やすことで受光ユニットをさらに増設することができます。

故障かな？と思ったら

赤外線マイクロホンや赤外線レーザー、接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

症状	ご確認ください	対処方法
電源インジケーターが点灯しない	赤外線レーザーの電源は入っていますか？	→赤外線レーザーの電源を入れてください。
	同軸ケーブルが本製品の接続端子としっかり接続されていますか？	→同軸ケーブルと本製品の接続端子をしっかりと接続してください。
	同軸ケーブルや、ケーブル先端の BNC プラグ部で、断線やショートしていませんか？	→同軸ケーブルや BNC プラグを新しいものに取り換えてください。
受信しない／音にノイズが乗る／音が途切れる	赤外線マイクロホンと赤外線レーザーのチャンネルの設定は合っていますか？	→チャンネルを合わせてください。
	本製品と赤外線マイクロホンとの間に障害物がありますか？	→障害物を取り除くか、本製品を見通せる場所で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
	本製品と赤外線マイクロホンとの距離が離れすぎていませんか？	→受信範囲内で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
	赤外線マイクロホンを複数使用時、本製品と距離が近づきすぎていませんか？	→雑音がしなくなるまで、赤外線マイクロホンを離してください。
	本製品の近くに、「使用上の注意」に記載のノイズ源となる機器がありませんか？	→正常に動作する場所まで離して設置してください。
	同軸ケーブルを、ほかのケーブルなどと一緒に束ねて配線していませんか？	→ほかのケーブルとは一緒に束ねず、離して配線してください。
	同軸ケーブルの長さが長すぎませんか？	→最長 100m 以内で配線してください。
	受光ユニットを複数個設置している場合、同軸ケーブルの長さをそろえていますか？	→同軸ケーブルの長さをそろえてください。 ※「接続のしかた」をご確認ください。
	混合分配器 ATIR-D640 を使用している場合、「ケーブル長補正機能」が正しく設定されていますか？	→「ケーブル長補正機能」の設定をやり直してください。
症状が良くならない場合は	お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。	

外形寸法図



テクニカルデータ

受信周波数 : Ach (3.04MHz)、Bch (3.48MHz)、Cch (3.70MHz)、Dch (3.84MHz)、Ech (2.06MHz)、Fch (2.48MHz)、Gch (2.70MHz)、Hch (2.82MHz)

接続端子 : BNC コネクター

外形寸法 : H31 × W40 × D82mm

質量 : 約 85g

付属品 : IR フィクサー、アンカー ×3、木ねじ ×3

改良などのため予告なく変更することがあります。

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ
www.audio-technica.co.jp/proaudio

142315610-01-01
ver.1 2017.01.26

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。

なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品の)の最も保有年限は製造打切後6年です。

保証規定 (必ずお読みください)

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社営業所または当社ホームページのサポートまでご連絡ください。また、修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。 以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。

転載不可

修理品の送料

- 保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、元通りに梱包してお送りください。

修理品の保証

- 修理後、同一箇所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ヶ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

- ①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
- ②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ③本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。